

【WSD用】出典表示について



日本語の論文・レポートを書く際に迷う出典表示の情報をまとめました。分野によって細部は異なりますし、先生から指定されたスタイルがあれば、それに従う必要がありますが、一般的な書き方や考え方についての資料です。

◆ 出典表示の2つのスタイル

資料を引用したときには、「」を使って一字一句そのまま使う直接引用でも、自分で言い換え・要約をして使う間接引用でも、「出典表示」が必要です。文中の出典表示には2つのスタイルがあります。

- ①文中に（ ）で出典表示を入れ、参考文献リストを最後につける
自然科学・社会科学などで一般的なスタイル

【文中の出典表示】

(著者名名字、出版年、ページ数)

例 (桜井、2003年、p.15)

※間に他の資料をはさまず同じ資料からの引用が続く場合は(同上)など省略して表記
※脚注は出典表示に使わず、補足情報のみを書く

- ②脚注(あるいは後注)に出典表示を入れ、参考文献リストを最後につける
(参考文献リストは不要の場合もある)
文学・歴史学などで一般的なスタイル

【脚注の出典表示】

著者名(出版年)『書名』、出版社、ページ数

例) 桜井雅之(2003)『レポート・論文の書き方』、慶應義塾大学出版会、p.15

※間に他の資料をはさまず同じ資料からの引用が続く場合は、「同(書)」、間に他の資料や補足情報の注が入る場合は「著者名、前掲書」「著者名、前掲論文」など省略して表記
※脚注(後注)に出典表示も補足情報も区別なく両方入れる

脚注はページごとにつける注、
後注は本文全部の最後につける注のこと



◆ 参考文献リストに書く出典表示

文中には（著者名、出版年、ページ数）と書く、もしくは注番号のみを書き、詳細は参考文献リストや脚注（後注）に書きます。インターネットソースの場合も本文中に URL など詳細を書く必要はありません。詳細は参考文献リストや脚注（後注）に書きましょう。

【基本的な書き方】

- ・ 著者名（出版年）『書名』、出版社
- ・ 著者名、『書名』、出版社、出版年

※分野などによるが、主にこのどちらかの形式。

出版年を前に書くか、後ろに書くかの違い。

【複数著者の場合】

著者名 1・著者名 2・著者名 3（出版年）『書名』 出版社

例）青柳悦子・土田知則・伊藤直哉（1996）『現代文学理論』新曜社

※著者が多い場合、代表者一名の名前を書いて「他」とする場合もある

【複数著者の本の一部を使った場合】

著者名（出版年）「章タイトル」 編者『書名』 出版社 掲載ページ

例）川島重成（2003）「古代ギリシア文学の本質」川島重成・高田康成編『ムーサよ、語れー古代ギリシア文学への招待』三陸書房 pp.10-23

【翻訳本の場合】

著者名、訳者名（訳）（出版年）『書名』 出版社

例）ヤコブソン、ロマン、川本茂雄（訳）（1973）『一般言語学』みすず書房

文中の出典表示、文中で書く著者の名前の表記は、翻訳本を読んだ場合はカタカナ、原著を読んだ場合は原著の表記（アルファベットなど）にする

【翻訳を読んだ場合】

ロマン・ヤコブソンは「～～」（ヤコブソン、1973、p.10）と述べる。

【原著を読んだ場合】

Roman Jakobson は”～～～”（訳）（Jakobson, 1973, p.10）と述べる。

Roman Jakobson は～～～ と述べる（Jakobson, 1973, p.10）。

【新聞記事の場合】

『新聞名』発行年／月／日・朝刊夕刊種別（版）「記事主見出し」p.掲載面

例) 『日本経済新聞』2010/11/1・朝刊「中小企業融資、海外事業向け急拡大」p.4

【インターネットの情報の場合】

著者・サイト運営団体（記事更新日時）「記事・ページタイトル」、ページの URL、（最終アクセス日：年月日）

例) 文部科学省「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」、
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html（最終アクセス日：2020年8月5日）

※更新日時などわからない場合は省略

本文の中の出典表示と、参考文献リストの一番左側が一致するように注意！

【文中の出典表示】

(川島、2003年、p.11)

(日本経済新聞、2010/11/1・朝刊、p.4)

(文部科学省)

【参考文献リスト】

川島重成 (2003)「古代ギリシア文学の本質」川島重成・高田康成編『ムーサよ、語れ—古代ギリシア文学への招待』三陸書房 pp.10-23

『日本経済新聞』2010/11/1・朝刊「中小企業融資、海外事業向け急拡大」p.4

文部科学省「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」、
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html (最終アクセス日：2020年8月5日)

文中の出典表示は、参考文献リストの中のその文献情報にたどりつけるための目印。これが一致していないと、どの資料なのかがわからなくなってしまうので、必ず、参考文献リストで一番左にくる名前を文中の出典表示の () に書こう。



◆ 電子資料として扱うもの／紙媒体の資料と同じ書き方をするもの

インターネット上の情報には、web 媒体だけの記事と、紙媒体で出版されたものをデータ化したものとの両方があります。出典表示の書き方に注意しましょう。

【電子資料と紙媒体資料の出典表示の違い】

電子資料だけに必要な情報：URL・最終アクセス日

紙媒体資料をデータ化したものは、紙媒体の場合と同じ書き方！

最近、ライティングサポートのセッションの中で CiNii や J-stage などの論文データベースから取得した PDF データを引用する場合にもインターネットソースとして扱い URL やアクセス日を記載するケースを見かけます。例えばサイト名を CiNii とし、URL とアクセス日を書いているようなケースです。

データベースから取得した PDF データの論文は、紙媒体の場合と同じ書き方で良いです。インターネット資料ではなく、紙媒体のものを PDF 化しているだけなので、通常の雑誌・論文の出典表示と同じように書きます。

新聞の場合も、「聞蔵」や「ヨミダス」などのデータベースから PDF で閲覧・取得したものは紙媒体の新聞記事と同じ書き方で良く、「デジタル版」の記事を閲覧した場合は、電子資料として扱い、URL や閲覧日を記載する必要があります。

【閲覧日を書く理由】

インターネットの情報は変わり得るため、「自分が見た時点ではこの場所にこの情報があった」ということを示すために URL や最終閲覧日を書く。

論文や新聞を PDF 化したものは、紙媒体のものを電子化しているだけなので、情報が変わることは基本的に考えられず、紙媒体と同じ書き方で良い。

その情報が web 上のもので、内容が変わる可能性があるのか、紙媒体で内容が変わらないものをデータ化しただけなのか見分けて、適切な出典表示を選ぼう。



◆ 特殊な資料を使いたいとき（Twitter の投稿・YouTube 動画など）

一般的に、インターネット上の情報はレポート・論文の資料として使うにはふさわしくないとされています。誰が書いたか、いつ変わるかわからない情報が多いからです。一方、各省庁や団体の出す統計などのデータは、紙媒体よりもインターネットの方が、早く新しい情報を入手できるケースもあり、内容によってはインターネット上の情報も出典としてあげることができます。

YouTube や SNS の情報は、レポート・論文に使う資料としては基本的にふさわしくありません。しかし分野によってはそれ自体が研究対象になるケースもあり、どうしても引用したいというケースも増えてきています。

【海外のルール】

MLA、APA 共に Twitter と YouTube を引用する際の書き方が決まっています。

Twitter の投稿

MLA

名前 (@のユーザー名) . "ツイート全文" 投稿日付, 時間, Tweet.

APA

名前 [@のユーザー名] . (年, 月日) . ツイート全文 [Twitter moment] . Retrieved from URL

YouTube の動画

MLA

名前 (あるいは YouTube ユーザー名) . "動画タイトル" YouTube, uploaded by 投稿者の名前, 投稿の日付. URL.

APA

名前. (年, 月日) . 動画タイトル [Video] . YouTube. Retrieved from URL

YouTube を使った際の文中出典表記は次のように決まっている

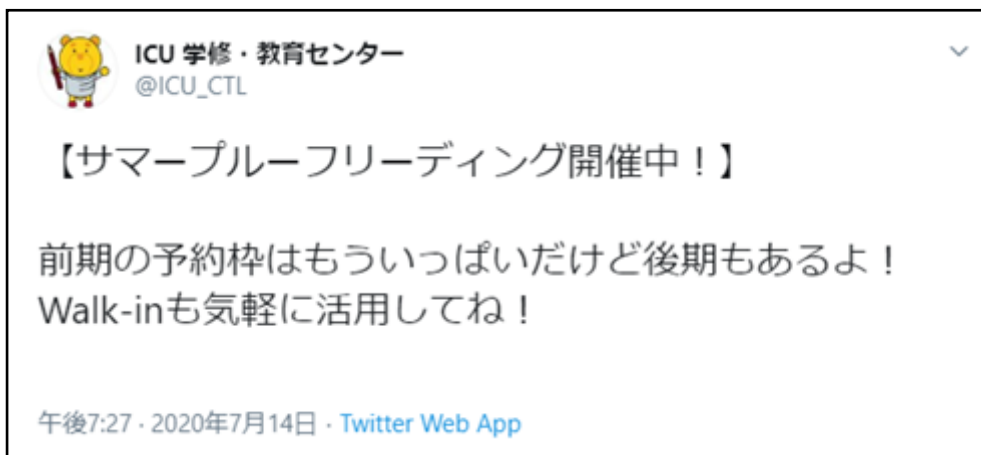
MLA (Robinson 00:14-01:35)

APA (Chegg, 2018)APA

どうしても Twitter や YouTube の情報を「出典」としてあげたい場合、MLA や APA の書き方を応用して日本語で書くという方法があります。

Twitter の投稿の例

このツイートを参照したとして、MLA、APA の書き方を応用して参考文献リストの出典情報を書くと次のようになります。



例 1)

ICU 学修・教育支援センター (ICU_CTL)、「【サマーブルーフリーディング開催中！】前期の予約枠はもういっぱいだけど後期もあるよ！ Walk-in も気軽に活用してね！」、2020 年 7 月 14 日、19 時 27 分、ツイート

例 2)

ICU 学修・教育支援センター [ICU_CTL]、(2020 年 7 月 14 日)、【サマーブルーフリーディング開催中！】前期の予約枠はもういっぱいだけど後期もあるよ！ Walk-in も気軽に活用してね！ [ツイート]、Retrieved from https://twitter.com/ICU_CTL/status/1282985165195587585

YouTube 動画の例

この動画を参照したとして、MLA、APA の書き方を応用して参考文献リストの出典情報を書くと次のようになります。



例 1)

NAGAHAMA, RYOHEI 「卒論のための図書館レクチャー冬学期まとめ」 YouTube, uploaded by RYOHEI NAGAHAMA、2019 年 12 月 23 日、https://www.youtube.com/watch?v=cIdxrm34yK4&feature=emb_logo URL.

例 2)

NAGAHAMA, RYOHEI. (2019 年 12 月 23 日). 卒論のための図書館レクチャー [動画]. YouTube. Retrieved from https://www.youtube.com/watch?v=cIdxrm34yK4&feature=emb_logo.

【SNS や YouTube を使う際のその他の方法】

SNS 自体が研究対象で、例としてあげる場合や、「Twitter での発言であること」が重要なケース、「YouTube 上の動画であること」が重要なケースであれば、論文で SNS の投稿や YouTube 動画を「資料」として使うことも考えられます。

一方、そうではない場合は、本当にそれを使う必要があるか、別の資料はないか検討してみる必要があります

- ・ 著名人の発言などは、別のところ（記事など）で同様の発言がないか探してみる
- ・ 世論のようなものであれば新聞記事や特集記事などがいないか探してみる
- ・ CM 動画などはその商品を販売しているところの HP などに概要がないか見てみる（静止画や文言だけでも十分な場合もある）
- ・ 音楽・演劇であれば DVD などがいないか調べてみる

動画の場合、番組の映像を使いたいがどうしても YouTube でしか見つけられない場合は、番組の放送日やタイトルを本文に記載し、注で、YouTube で視聴したことを記載するという方法もあります。SNS の投稿の場合も、注で自分は Twitter で閲覧した、ということに記載する、という方法もあります。

「Twitter の情報であること」「YouTube の情報であること」が重要な場合以外は、他に同じような情報を載せているものがないか考えてみよう。

